広報
さめがわ
昭和58年
10月号
No. 358
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

親と子の共同クリーンアップ大作戦



鮫川村の道路愛護作業は古い歴史と実績のあるほまれ高い行事ですが、近年は河川の清掃も加えて村民総出の大活動が行われています。

今年は道端に空きビンやカンなどの散乱している所もあるので、小中学校の児童生徒で組織している子供会や少年赤十字団などが自主的に参加することになり、9月25日親も子も総出の秋のクリーンアップ大作戦の展開となりました。

これで路肩の雑草は刈り取られ、ビンやカンは収集され、川の流れは清冽になり、きれいで平和な村の姿をとり戻しました。

10月1日～31日	体力つくり強調月間
10月16日～22日	行政相談週間
11月1日～30日	全国青少年健全育成強調月間

今月の人口

(10月1日現在)

		前月比
人口	5,572	(0)
男	2,760	(－2)
女	2,812	(＋2)
世帯	1,128	(0)

交通安全を呼びかける



秋の交通安全運動が9月21日から30日まで、全県下各地でにぎやかにくりひろげられ、村でも交通安全協会、母の会、鮫川小学校鼓笛隊などが、パレードを行って交通安全を呼びかけました。



役場前の国道沿いに交通安全テント村が設けられ、道行く車や人々に風船やチラシを渡すなどして、交通安全を呼びかけ、特にシートベルトの着用を強調しました。

村政の歩み (6)

来年度から始まる国土調査

村長　石田卯子八

国土の実態を総合的、科学的に明らかにすることは、国土の利用を高めるためにも、経済の開発を進めるためにも極めて重要なことであります。

国土調査法が制定されたのは昭和二六年六月のことで、当初は任意制で実施されましたが、その後一部改正があり、昭和三七年五月には国土調査促進特別措置法が制定されて、広く実施の促進が図られ、既に第三次の一〇か年計画が実施されております。

わが村も諸般の事情で未着手できましたが、いよいよ本年から準備を進め、昭和五九年度から実施に入ることになりました。

国土調査は基本調査、地籍調査、土地分類調査、水調査に分類されますが、村が直接行うのは「地籍調査」であります。

地籍調査は土地の境界、面積、所有者、地目、地番を調査するもので、この結果によって土地の正確な地図と簿冊が作製され、登記簿が書きかえられ、村が現在保管している土地台帳、字限図もこれに代ることになります。

只今使われている字限図や土地台帳の記載は、明治年間に行われた地租改正の当時、まだ未発達の測量技術で作られたもので、その後の変動もあり、不備欠陥も少くないので、なるべく早い機会に正しいものに改める必要があることはいうまでもありません。

調査を進める順序としては、昭和五八年度中に国土地理院による基準点測量が行われ、村内の高い山に設置されている国家三角点から地積調査の基点になる四等三角点が測量設定されます。

これが土地境界測量の基点になるわけであります。

村は事業計画を樹て、調査素図の作製やその他の準備を行います。

昭和五九年度は事業実施の第一年度になりますが、現地は浅川町との境界が、浅川町の地積調査で既に確定しているので、赤坂西野地区から着手を予定しております。

今後関係地域の皆様と説明懇談会などを開いて、ご理解とご協力をおねがいすることにしております。

これから長い年月にわたって行われるこの国家的性格の大調査事業が、正確且つ円滑に行われるよう皆様のご援助をおねがいするものであります。

おだやかな好天に恵まれた

秋の健康づくり大会

第三〇回を重ねた村の健康づくり秋季大会は、一〇月一〇日の体育の日に盛大に行われました。

午後八時の定刻には開会式場のトレーニングセンターに、選手役員来賓の方々まで約五〇〇名が参加して開会されました。

円熟した手腕を見せるOBソフトボールは西野運動広場で、壮年者の意気と実力を示す壮年ソフトボールは、村民運動場と渡瀬運動広場で行われ、美しい技量を発揮するバレーボールは、三〇才以上と三〇才未満のブロックに別れて、トレーニングセンター一杯にすばらしい技を展開しました。

OBソフト優勝　中野OB
　準優勝　西野OB
壮年ソフト優勝　西山A
　準優勝　西山B
バレー優勝　官代
　準優勝　渡瀬B
バレー（三〇才未満）
　優勝　渡瀬A
　準優勝　中野

村の誇り
道路河川の清掃奉仕作業







①村の道路と川をきれいにする清掃奉仕作業は村人総出で行われる。教育長さんも鎌をもって参加。
②戸倉地内、親も子も一緒に活動開始。
③折戸地内、たのしい作業を終えて一寸ひと休み。

九月定例村議会
七日間の会期で慎重審議

九月定例村議会は九月二一日招集され、七日間の会期で審議をつくされ、二七日に閉会されました。

提出議案は昭和五七年度一般会計歳入歳出決算認定の件を初め、昭和五七年度各特別会計の決算認定、昭和五八年度一般会計、特別会計の補正予算等八件で、人事案件二件も追加提案されました。

何れも慎重な調査審議のうえ原案の通り認定または可決、或は同意されました。

この定例会に次の議員さんが一般質問に立ち、それぞれ当局から答弁がありました。

遠藤慎一郎議員
一、村内道路網の整備状況
二、少年の非行対策

根本　伝議員
一、国土調査の実施計画

鈴木　公義議員
一、乾草センターの供給状況
二、村有貸付牛
三、急傾斜地防災対策
四、村内中小河川改修計画

船木　彦助議員
一、農村の花嫁花婿対策
二、観光開発と環境整備

石井　利雄議員
一、若い後継者の花嫁花婿対策
二、西野小学校のプール施設

関根　勝義議員
一、畜産対策
二、生活路線バス
三、人事院勧告の実施

なお、提出議案は常任委員会に付託されて調査審議されましたが、常任委員会を代表する代表質疑が次のように行われました。

総務　大楽　勝男議員
一、分担金条例の再検討
二、納税奨励金交付規則の再検討

経済建設　本郷　貢議員
一、森林災害復旧状況
二、測量設計の業者指名
三、公有財産購入

厚生文教　船木　彦助議員
一、中学校舎の補修工事
二、青少年広場の造成工事
三、衛生処理組合の負担金

人事案件については教育委員芳賀洋郎委員の再任に同意、人権擁護委員大楽勝男委員の再推薦に同意されました。

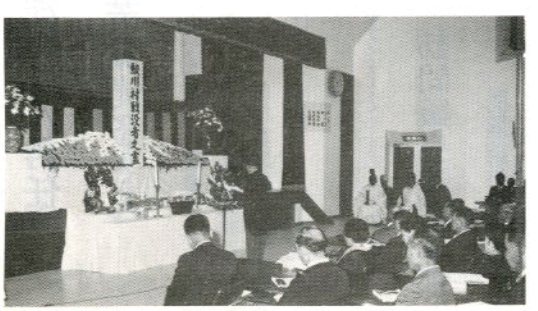
戦没者追悼式
九月二二日しめやかに執行

村恒例の戦没者追悼式は、秋の被岸の九月二二日山村開発センターで、遺族の方々二百余名出席のもと、県知事代理外多数の来賓を迎えてしめやかに執行されました。

なお村の追悼式後、遺族会主催の慰霊祭が行われ、香煙ゆらぐ中、読経の声が流れました。

亡き戦友を偲びて　関根一好

母の名を呼びて逝きたる戦友らの夢あらたなり消ゆることなし



ゲートボール場が完成

―村民保養施設さぎり荘―

さぎり荘西側に造成中だったゲートボール場がこのほど完成し、その竣功式と記念大会が九月一七日に行われました。

工事費は三三一万九千円で、敷地面積は六、一八三㎡。競技コートが三面、練習コートが一面立派に完成しました。

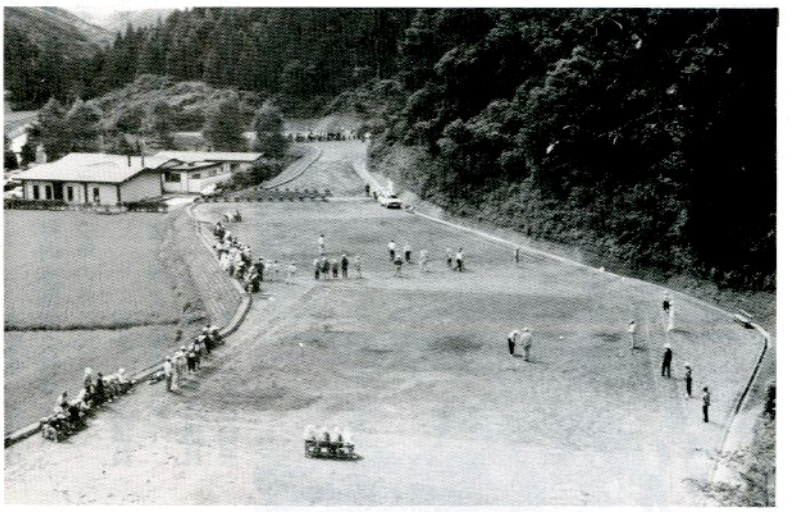
使用許可はさぎり荘で行っていますので、気軽に利用してください。



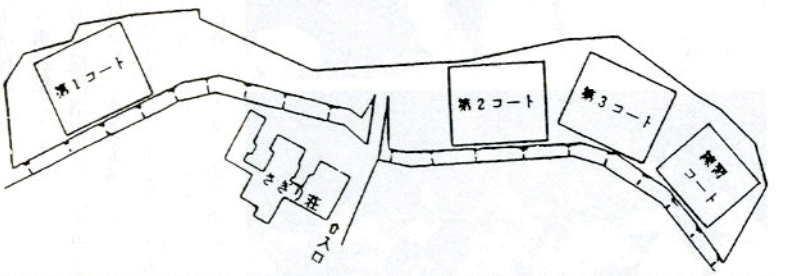
ゲートボール場で行われた竣功式



ゲートボール大会の始球式



立派に完成したさぎり荘ゲートボール場



教育委員に芳賀洋郎さん再任

―委員長に芳賀光子さん―

九月三〇日任期満了の教育委員芳賀洋郎さんは、九月定例村議会で万場一致の同意で再任されました。

一〇月一日開かれた教育委員会で委員長の選挙が行われ、芳賀光子さんが委員長に決定しました。また委員長の職務代理者は阿久津春男さんに決定しました。

森林雪害の復旧状況を視る県議団



森林雪害の復旧状況を視察調査するため、県議会企画農林委員会の議員さんたちが、九月二四日来村され、強滝村有林の被害木が整然と整理されて跡地造林が行われた現地を親しく調査されました。

訪問販売にご注意

―民警懇談会から―

秋の農繁期になると、時計、布団、漢方薬、消火器等の訪問販売が多く来ます。

これらの品物は偽物が多いので、被害にあわないよう次の点に注意しましょう。

- 訪問の段階でことわる
- 品物は見ない
- 相手の身分、車のナンバー等をチェックしておく
- あまりしつこい時は、一一〇番または駐在所へ連絡する

人事異動

◇退職（一〇月一日付）

緑川リウ（住民課）

郷土の繁栄を築いた高令者に感謝の敬老会

九月一五日の敬老の日に、恒例の敬老会が山村開発センターでにぎやかに開かれました。

今年は一〇二才でますますお元気な赤坂西野の鈴木ツルさんを初め五〇〇余名が出席され、いつも変らぬ健かな姿で一日の行事をたのしまれました。

この日の慰安芸能は、スポーツ民踊愛好会と民踊クラブの皆さんの踊りに初まり、東京から招かれた三門お染さんの浪曲、続いて五色豊さんと結城みどりさんの歌謡曲と民謡があり、ご参会の高令者を喜ばせました。









昔の農事組合長さん 90才でいよいよお元気

敬老の日を前に、村内九〇才以上の高令者を村長が直接ご気嫌をお伺いして敬老年金を差上げ、長寿をお祝いしました。

写真上は前田実さん下は中川西嘉広さんで、どちらも五〇年前の農事組合長さん。当時農業技術員の石田村長と、しばし農事改良の昔話に花が咲きました

こんにちは
保健婦です

やけどの応急手当

やけどをした時、すぐに着ている服をぬがす人がいますが、服をぬがすと、皮膚がむけてしまい、やけどを悪化させることになります。

では、まずどうすれば良いのでしょうか。

第一に、冷やすことです。着ている服は、そのままさわらずに、水道の水をやけどの部位にかけて冷やしてください。

小範囲の場合は、充分冷やした後に消毒した火傷用油剤を塗り、消毒ガーゼを当てて包帯をする。

広範囲の場合は、火傷用油剤を塗ると、医師の治療を妨げることもあるので、服のまま充分冷やし、もしやけどの部位が露出している時には消毒ガーゼをあて、医師のもとに運ぶ。また、身体の細胞破壊のため、大量の細胞液が流出するのでショックをおこすことがありますから、気をつけましょう。

やけどの手当をする時に、注意することは、

一、綿、脱脂綿などの繊維がくっつくものを、直接やけどの部位に用いない。

二、金属物などでやけどをした時には、その破片がやけどの部位にくっついていても取ろうとしてはいけない。

三、大きな水泡は破らずに医師の治療にまかせる。

四、医師の治療が期待できないときで、広範囲のやけどの患者をしばらく看護しなければならない場合には、少しづつの水を、たびたび与えて、かなりの量を飲ませる。

五、清潔な水や氷があれば、やけどの面積が全体表の五分の一以下の場合に、その部分を冷水につけ、氷で冷やしたタオルで冷やす。

何よりもまず冷やすことです。



村の発展に工場誘致と農林業振興

村民の意向調査まとまる

村づくりについての、皆さんのご意見をお聞きするため、去る六月に村民意向調査を行いました。

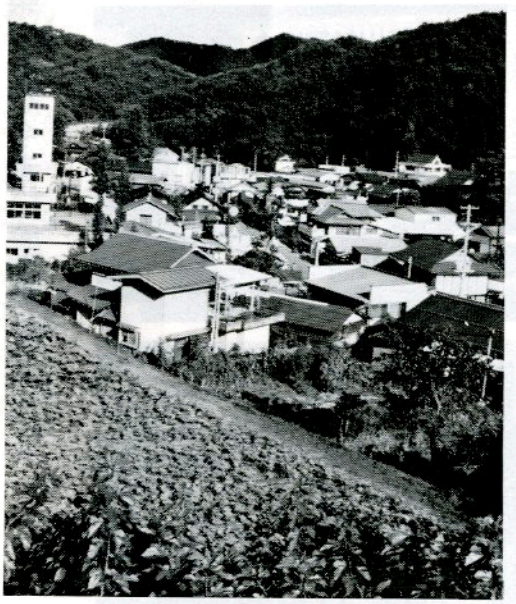
村内一、一三五世帯のうち、九一八世帯から回答があり、その率は八一％に達しました。

また、皆さんのご意見を自由に記入する「その他」の欄では二二五件の貴重なご意見をいただきました。調査についてのご協力誠にありがとうございました。

回答者の状況は、男七四九人（八二％）、女一六九人（一八％）です。年齢階層別では、二〇～二九才＝四九人、三〇～三九才＝一三九人、四〇～四九才＝三二七人、五〇～五九才＝三一〇人、六〇才以上＝九三人で、四〇才から五九才代が最も多く、七〇％を占めています。

職業別には、農林業が五四五人で五九％を占め、次に給料生活者一五一人、その他の職業一三三人、商工業自営七二人、無職一七人の順でした。

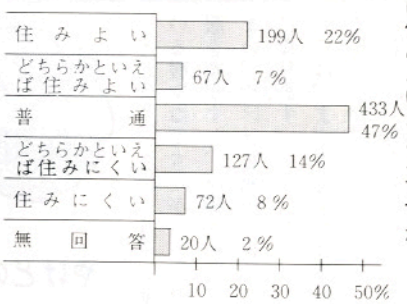
回答者の世帯での立場は、世帯主が六七四人で七四％、主婦一四〇人、その他の家族一〇四人であります。以下一般調査の結果をお知らせします。尚紙面の都合上農林業についての結果は、次号の広報でお知らせします。



問1　いつごろから鮫川村に住んでいますか。

先祖代々	10％
祖父母の代から	13％
父母の代から	7％
自分の代から	67％
わからない	3％

問2　あなたにとって鮫川村は住みよいところですか。

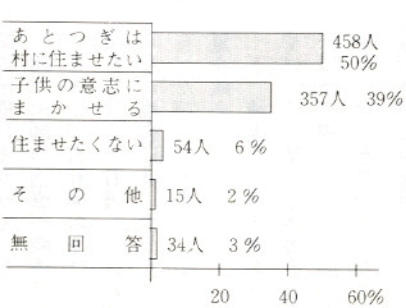


「住みよい22％」、「どちらかといえば住みよい7％」、「普通47％」を合計すると、76％の人が「まあまあ住みよい」と答えています。

問3　あなたは、これからも鮫川村に住みたいと思いますか。

ずっと住み続けたい	62％
当分は住み続けたい	20％
できれば村をでたい	8％
でなければならない事情がある	1％
わからない	7％
無回答	2％

問4　あなたの子供が鮫川村に住むことについて。

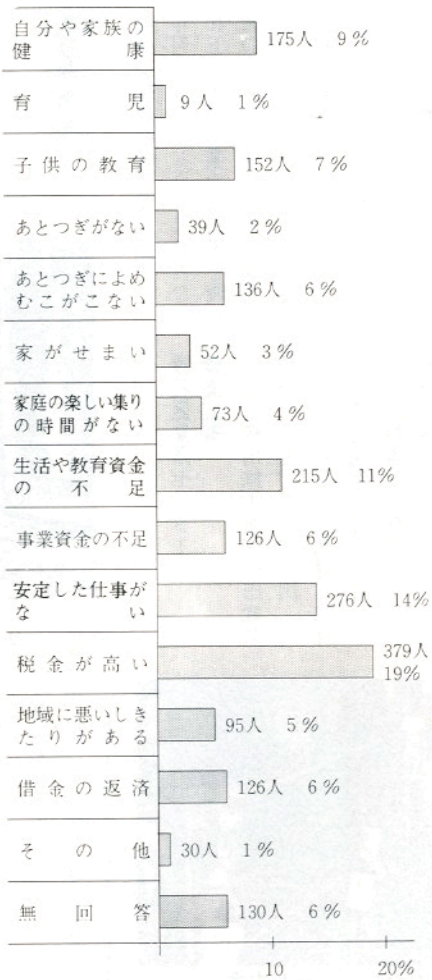


後継者問題としては、たいへん重要な事項で、親の立場から見た後継者については「あとつぎは村に住ませたい50％」、「子供の意志にまかせる39％」、「住ませたくない6％」の順になっています。今後の後継者対策としては、いかに鮫川村を青年層に魅力ある居住環境にするかがカギになります。

現在困っていることベスト1
税金をもっと安くして

問5　あなたが現在特に困っていることがあれば、3つ以内に○をつけてください。

図を見ると、やはり生活をしていくうえでの資金関係がトップグループをしめています。特に「税金が高い」が19％とトップになっております。この場合の税金は、国税県税村税を含み国保税なども含みます。

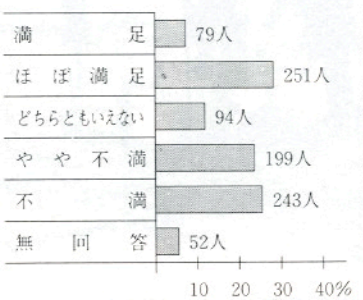


問6　あなたやあなたのご家族は、次の項目についてどのように感じていますか。各項目について該当する番号を○でかこんでください。

生活環境

1、道路の改良や舗装の程度は

満足七九人、ほぼ満足二五一人を合計すると三三〇人で全体の35・9％になり、不満二四三人、やや不満一九九人を合計すると四四二人で全体の48・1％になっています。



これは、幹線道路にくらべて村道の延長が長く、改良率が41・5％、舗装率が14・8％とやや低いためと思われます。

2、通勤や通学の便利さは

満足	14％
ほぼ満足	25％
どちらともいえない	14％
やや不満	17％
不満	21％
無回答	9％

3、児童の通学や安全性は

満足	13％
ほぼ満足	24％
どちらともいえない	23％
やや不満	15％
不満	11％
無回答	14％

4、飲料水の施設は

満足	33％
ほぼ満足	29％
どちらともいえない	12％
やや不満	7％
不満	9％
無回答	10％

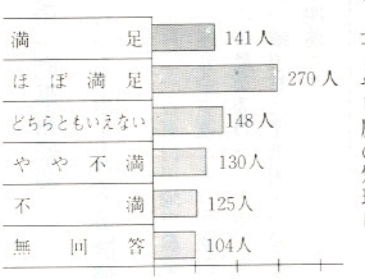
5、下水の処理は

満足	13％
ほぼ満足	21％
どちらともいえない	20％
やや不満	16％
不満	16％
無回答	14％

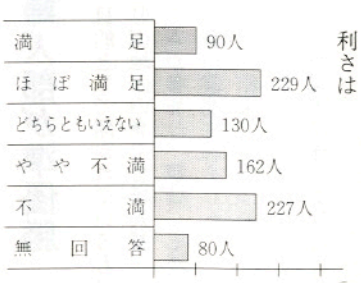
6、ゴミやし尿の処理は

満足	11％
ほぼ満足	30％
どちらともいえない	16％
やや不満	16％
不満	18％
無回答	9％

7、病院や診療所の利用の便利さは



8、日常の買物をするときの便利さは



9、村内の川のきれいさは

満足	5％
ほぼ満足	18％
どちらともいえない	26％
やや不満	23％
不満	18％
無回答	10％

10、自然環境の状況は

満足	11％
ほぼ満足	30％
どちらともいえない	28％
やや不満	12％
不満	6％
無回答	13％

11、全体的にみて、生活するうえでの環境は

満足	5％
ほぼ満足	26％
どちらともいえない	29％
やや不満	20％
不満	10％
無回答	10％

新農構事業

集落センター建設工事始まる

――東石区と渡瀬区――



9月28日行われた渡瀬区集落センター起工式

新農業構造改善事業は今年で四年目になりました。このたび昭和五八年度事業の東石区と渡瀬区の集落センター建設工事が着工されました。

東石区集落センターは、広畑地内の旧東石区公民館跡地に鉄骨造り一六五・六二㎡の規模で建築されます。渡瀬区集落センターは、中山地内渡瀬区運動広場の隣に鉄骨造一六五・六二㎡の規模で建築されます。

これで、村内七行政区にすべて集会施設ができることになります。

東石区集落センター建築工事

請負者　鮫川鉄工所、前田武久

請負額　一五、五〇〇千円

工　期　昭和五八年九月二〇日～昭和五九年一月二〇日

渡瀬区集落センター建築工事

請負者　湯座建設㈱、湯坐武

請負額　一五、五〇〇千円

工　期　昭和五八年九月二〇日～昭和五九年一月二〇日

農委だより

水稲作況の調査

四年連続の冷害は回避

九月二四日、村農業委員会は、水稲の作況調査を行いました。

村内一円について調査しましたが、今年の作柄は、八月中旬から九月上旬までの天候が回復して好天が続いたので作柄が順調に遅れを取り戻し、平坦地は平年並み、また山間高冷地は、やや不良となるのではないかと予想されました。しかし、今年は、稲こうじ病の発生が多く見られますので、品質低下が心配されます。

四年連続の極端な冷害は回避されたものの、天候に左右されることの多い農業経営の中で、これからは適地適品種の選定、耐冷栽培技術の向上に一層努力しなければならないことが痛感させられました。

第八回農業委員ソフトボール大会開催

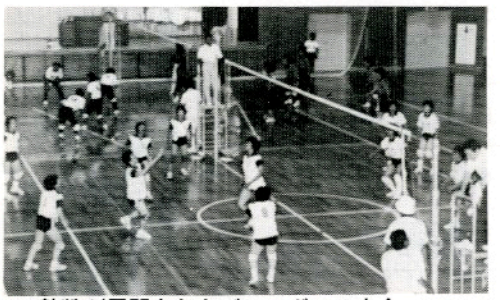
九月二一日東白川地方農業委員会連合会主催による、東白川管内の農業委員ソフトボール大会が鮫川村民運動場を会場として開催されました。

これは、農業委員の健康増進と相互の親善を図り、地域農業の振興発展に寄与することを目的としております。

鮫川村は、過去に四年連続優勝を遂げましたが、今年の結果は次のとおりです。

優勝　棚倉町　準優勝　塙町

三位　矢祭町　鮫川村



熱戦が展開されたバレーボール大会

県商工会婦人部親善バレーボール県南大会

鮫川商工会婦人部が準優勝

県南地区商工会婦人部連絡協議会主催の県商工会婦人部親善バレーボール大会県南地区大会が、九月八日鮫川村農業者トレーニングセンターで開かれました。

この大会は、婦人部員の親睦と商工会発展に寄与することを目的として開かれているもので県南地区の商工会婦人部一〇チームが参加し、競技、応援とも熱戦が展開されました。

その結果、優勝は矢吹町商工会婦人部で、鮫川村商工会婦人部は準優勝に輝きました。

公民館だより

命の尊さを語る
児童劇「さるひき健太」

東京都内に事務所をもつ演劇集団「未踏」の児童劇「さるひき健太」の公演は、九月七日県教育委員会・県文化センター・村教育委員会などの主催で山村開発センターを会場に上演され、村内の小・中学生など七五〇人が鑑賞しました。

児童劇「さるひき健太」は、人間と動物のふれあいやじのかよいあいを通して、生きるものの命の尊さを語りかけたすばらしい内容の芝居でした。

終って出演者全員による「演劇教室」が開かれ、「ないものをあるように」演技する芝居の楽しさを学びました。



「さるひき健太」の一場面

ゲートボールで楽しい健康づくり
第5回 社会学級婦人学級

第五回社会学級と第五回婦人学級は、九月二一日立派に出来あがったさぎり荘ゲートボール場を会場に開かれました。

ここで社会学級生と婦人学級生が合同でゲートボール大会を開き、日頃の練習で鍛えた技を発揮して、熱戦の中にも楽しい健康づくりをしました。

午後は青生野小学校グランドで、ゲートボール競技を楽しみ健康づくりをしました。

交通安全を学ぶ
第四回社会学級青生野教室

第四回社会学級青生野教室は、九月二〇日青生野区集落センターを会場に開かれました。

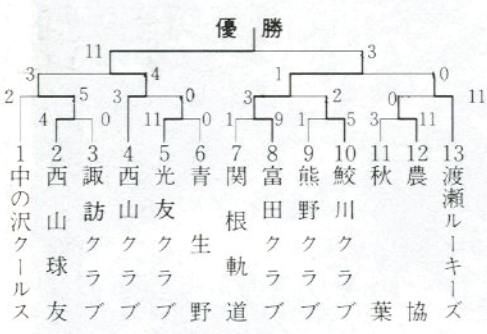
講座の内容は「わたしたちの生活と交通安全」について、鮫川駐在所三浦秀夫巡査部長から交通事故の事例や交通事故にあわないためにはどうすればよいかなどについて、わかりやすいお話をききました。

第三回民友杯 争奪野球大会
優勝西山クラブ

鮫川村野球連盟（会長鈴木三千男）の主催による第三回民友杯争奪野球大会は、九月一八日村民運動場、西野区運動広場、渡瀬区運動広場を会場に、一三チームが参加して盛大に開かれました。

熱戦の結果は西山クラブが優勝の栄冠に輝きました。

結果は次のとおりです。



新郎新婦紹介

九月に山村開発センターで、公民館方式の結婚式を挙げ、第二の人生をスタートされたカップルは次のとおりです。

おめでとうございます。

新郎 蛭田 孝志（官代、昭男、長男）媒妁人 蛭田 一美 様
新婦 蛭田美奈子（福島市、亨、長女）トク子 様

新郎 鈴木 保正（新宿、秀安、長男）媒妁人 鈴木千代之助 様
新婦 矢吹 里子（官沢、繁、長女）孝子 様



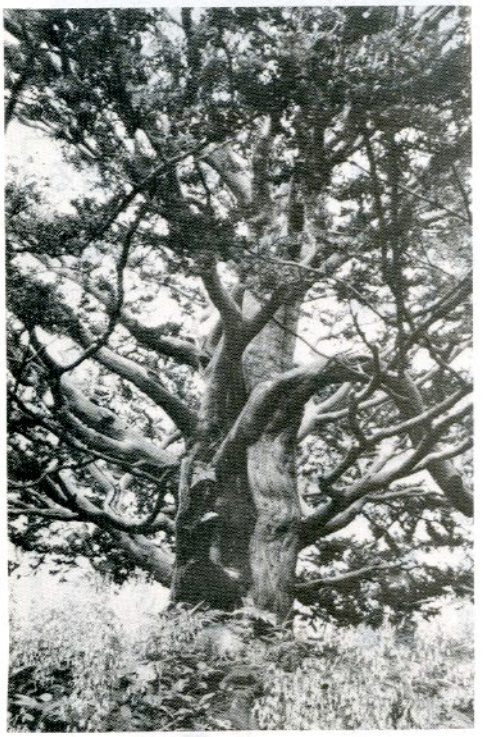
いわきの歴史探訪の集い
参加者募集

鮫川村歴史民俗資料館では、歴史講座として「いわきの歴史探訪の集い」を開催します。

参加ご希望の方は、山村開発センターに申込んでください。

◇期　日　一〇月二〇日(日)
三一日(月)　一泊二日
◇探訪地　いわき地方（平・内郷・赤井）
◇内　容　文化財の見学、展示物の観賞を通して、いわき地方の歴史を研究する。
◇対象人員　一般成人　二〇名
◇交　通　バス借上
◇参加料　一三、〇〇〇円（宿泊料、バス代、昼食代、観覧料含む）
◇宿泊地　高野温泉
◇集　合　午前八時三〇分、山村開発センター前
◇見学コース　（一日目）鮫川村＝御斉所街道＝平城跡・龍ケ城美術館＝大黒屋デパート（法大師展）＝高野温泉（泊）
（第二日目）高野温泉＝水石山・閼伽井嶽・薬師堂＝願成寺・白水阿弥陀堂＝御斉所街道＝鮫川村
◇参加申込
●期　限　一〇月二二日(土)正午まで（厳守ねがいます）
●申込先　山村開発センター（☎九―二二四七）
●方　法　電話で①氏名、②住所③電話番号をお知らせください。

新鮫川二〇景



水野家書院の庭園木 西山のイチイ（雄木）

(7) 朝日山（あさひやま）

鮫川村といわき市との境にそびえる村内一の標高７９７・３メートルを誇る朝日山。山頂には三等三角点の標石があり、西に村内の山々、那須連峰、吾妻連峰を望み、東にいわき地方、太平洋を望める村内きっての大展望の地であります。

麓の十日塚の地は、大規模桑園が広がる風さわやかな高原で、桑園中央の沢には坐禅草の群生がみられます。



朝日山頂の松並木、右かいわき市、左か鮫川村

(8) 宝木（ほうき）・折戸（おりど）

大字西山字宝木の水野家に県指定天然記念物西山のイチイ（書院庭園木）と村指定有形文化財水野家書院があります。江戸時代、幕府の巡見使が各藩視察の折、この地で休息、水野家を休所としたと記録にあります。

折戸には道標追分石があります。これも村指定文化財に指定されています。碑に江戸、京都といった主要都市間の里数、さらに、11面観音をあらわす梵字が刻んであります。

(9) 叉石（さすいし）

中野字蔦ケ作から石井草へ通じる中間地点に叉石といわれる景勝の地があります。巨石と巨石が交叉するところからこの名がついたといわれていますが、いまその姿はとどめていません。しかし、渓流と楓のおりなす景は素晴しく、ことに、秋の紅葉時がみどころでしょう。



▲ 叉石の清流と楓が美しい



▲うっそうたる杉木立の中の切石観音堂

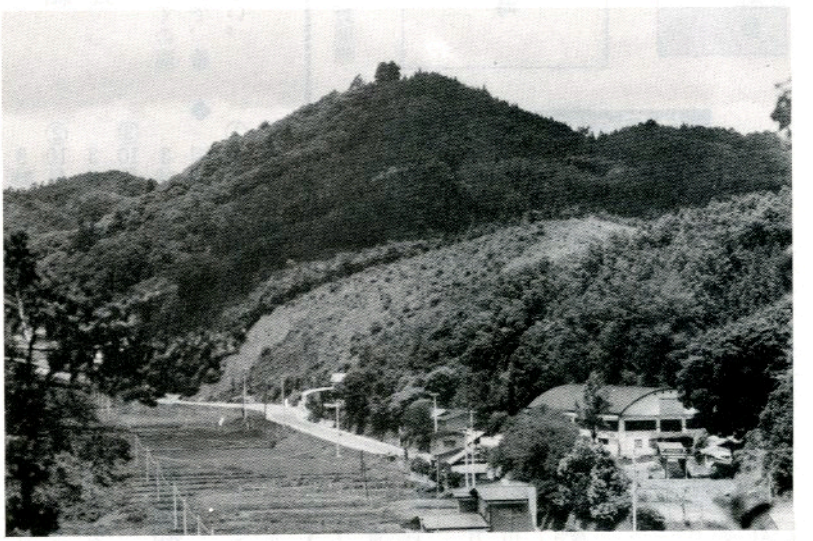
(10) 切石観音（きりいしかんのん）

大字赤坂西野字上部落の前山の杉林の中に、切石観音堂があります。堂は昭和７年に再建されたもので、板石塔婆を安置しています。天井は格天井で、63枚の絵（故鈴木春詩画伯21才時の作）がはめこまれています。

堂の東前山が塚本の共同墓地で、殿山を含む阿武隈の山々を望むことができます。車の入る道も整備（一部舗装）され駐車場もあります。

(11) 大塩山（おおしおざん）

大字赤坂西野字大塩部落の北側にそびえ立つ姿のよい山。通称ちょうつが山。山頂には三角点標石あり、ややおりたところに観音堂があります。堂に木造楊柳観音菩薩坐像が安置されています。正和５年（1316）につくられたもので、村内最古の仏像。大塩農事組合が管理し、八十八夜（５月２日）には、組合員こぞって山に上り、祭礼を営んでおります。



▲ 赤坂館跡から望む大塩山の勇姿



(12)馬場淵・関下の滝（ばばぶちせきしもたき）

大字渡瀬字中野町、関下地内[国道289号線と渡瀬川が接近するあたりの渓流が素晴しい。

庭石にふさわしい形の良い岩と岩の間を、白い水しぶきをあげ、清流がくぐりぬけ、三王山のすその雑木林の青葉が彩を添える景は、まさに絶景の一語につきる。秋には紅葉の名所となりますので、ひととき足をやすめて、眼下の景を堪能してはいかがでしょう。

住宅等の建築には届出が必要です

住宅等を建築するには次のような届出が必要です。

◆建築確認申請及び建築工事届

●百貨店、旅館、下宿、自動車車庫等の特殊建築物で床面積が一〇〇㎡を超えるもの。

●木造建築物で三階以上または延べ面積が五〇〇㎡を超えるもの。

●木造以外の建物で二階以上または延べ面積が二〇〇㎡を超えるもの。

●一〇㎡を超える建築物を建築しようとする場合

◆申請書等の経由順序

申請者→村建設課→消防署→白河建設事務所→福島県（建築課）→白河建設事務所→村建設課→申請者

工事届出用紙は建設課にありますので、必ず手続きをして、確認を受けてから着工してください。

遺族援護と恩給業務巡回相談会

遺族援護と恩給についての巡回相談会が開かれますので、希望の方はお出かけください。

◆日時及び場所

①10月9日　午前9時～午後3時　白河市役所

②10月20日　午前9時～午後3時　石川町役場

③10月21日　午前9時～午後3時　須賀川市中央公民館

◆相談内容

①戦傷病者援護関係について

②戦没者遺族関係について

③軍人恩給関係について

④その他

出席者は、相談内容に関する資料を持参してください。

農繁期の火災予防

これからは異常乾燥の日が長く続き、北よりの風が強く火災発生のシーズンを迎えますので、次のことに注意しましょう。

●マッチやライターは子供の手のとどかない所におきましょう。

●暖房器具は使用前に必ず点検整備のうえ使用しましょう。

●屋外での焚火は必ず消防署に届けて実施しましょう。

棚倉消防署鮫川分署

建築、左官科学生を募集

――石川技術専門校――

石川技術専門校では、昭和五九年度の学生を募集しています。

◆教育訓練科目

建築科　募集人員　二〇名

左官科　募集人員　二〇名

◆応募資格

中学校卒業者（卒業見込者も含む）以上

◆願書受付

昭和五八年一〇月二五日～一一月二四日

◆試験期日及び場所

昭和五八年一一月二五日

石川技術専門校

◆試験内容

学科（数学、国語、社会）及び面接試験

◆合格発表

昭和五八年一一月二九日

詳しくは、石川技術専門校（☎〇二四七二―六―三三三一）にお尋ねください。

おめでた

九月

下　木之内　公　父木之内清

関口　藤田　尚子　父藤田悦男

折戸　阿久津絵美　父阿久津定美

大石草　鈴木　浩之　父鈴木芳保

おくやみ

九月　年齢世帯主

広畑　舟木　ハツ81歳舟木忠光

追木　水野　正富74歳水野照雄

心配ごと相談

10月20日（木）

午前10時～午後2時

山村開発センター

行政相談

共同募金運動

10月1日～12月31日

休日の在宅当番医

月日	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
10月9日(日)	勝菅薄大診和阿	中車根厚生病院	慈泉堂
10日(月)	田原葉木所田部	島田本	
16日(日)	田原葉木所田部	中車根厚生病院	慈泉堂
23日(日)	田原葉木所田部	島田本	
30日(日)	田原葉木所田部	中車根厚生病院	慈泉堂
11月3日(木)	勝菅薄大診和阿	島田本	
6日(日)	勝菅薄大診和阿	中車根厚生病院	慈泉堂

ゴミの収集日

収集コース	種別	10月	11月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	13.17.20 24.27.31	7.10.14.17 21.24.28
	不燃物	14. 28	11. 25
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	11.13.18 20.25.27	1.8.10.15.17 22.24.29
	不燃物	14.28	11. 25
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	13. 27	10. 24
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	12. 26	9
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	—	4
官代～橋久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	14. 28	11. 25

※　休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※　ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

今月の納税　村県民税（3期）　国民健康保険税（5期）　国民年金保険料（3期）